



発行 37年4月23日
美濃加茂市

ニコニコ市政の実現

内容の充実したレベルの高い都市に

市長再選の確定した渡辺市長は三日就任に当たって所信を表明しましたが、三月二十七日NHKからの放送要旨を次のように特集します。

今回は私の五回目の選挙でございまして、市民の皆様こそつてのご推薦をいただきまして非常に感激しております。

それだけに市全体の幸福をもたらすために責任が重いので、しっかりとつていきたいと思っております。

とくに今後私の一つのねらいとしてはニコニコ市政を実現し、市民全部がニコニコとして希望をもつて暮らせるような市政を推進して参りたいと存じます。

具体的にはいろいろありますが、まず第一に道路網の整備であり一級国道二十一号、四十一号線、二級国道津那岐線等重要道路を今後更に改良整備を進めるとともに木曾川の架橋や、市道の定期的改良及び簡易舗装や災害に対する治水対策、さらに高山線、越前線等多線の交差点にある交通の整備を進めると共に通商網については名古屋即時通話を始め、大体の体制をとることで整備が出来上がつていますが、こうした体制をとることで、産業の基盤を



(NHK録音の市長)

作らば、幸い低開発地域指定による工業開発の問題もありませんのでこれを現実化していくとともに、又飛騨木曾川国定公園の指定は木曾川右岸用水等、大きな問題が目前にありますので、是非これを推進しまして木曾川の開発をし、或は木曾川を中心とした広域の開発を強力にやっつけていきたいと思います。

また美濃加茂市というのは、農村が合併したのであり、やはり理想的な田園形を作り、豊かな農村を作るということが合併本来の趣旨であります。一昨年来の所得増進ムードなどで農村に動機を来しましたがこうした二つの問題から私としては農業を近代化し豊かな農村をどうしても実現しなければならぬと思っております。幸い昭和三十八年より国の農業構造改善地域として推進するということになっておりますので、これを機会に市の画期的な農業の進歩を計りたいと存じます。

特に畜産、果樹、養蚕といった等特産物を振興して参りたいと存じます。が、現在でも美濃加茂市の農業は岐阜県でも農産所得のトップレベルにあると思っております。将来東海の農家の収入があるよう全盛期にしたい。こうした産業基盤の確立と産業振興の施策とともに、国保や公園、保育交通安全、保健衛生、民生、福祉の拡充や恵まれない人達に対する明るい援助措置や勤労者の福祉厚生施設の建設等、豊かな明るい市民生活の実現につとめるとともに市民負担の軽減や各種事業の関係者負担等も財

政の許す限り極力軽減を計かつていきたいと存じます。

さらに青年の研修とか婦人の地位向上を計りたい、とくにこの地帯は女子の高校がないので、なんとか女子高等教育を改善するよう検討したいと思っております。

またこれから逐次準備して町名地番の整理を推進し末端の仕事がやりやすいようにして行きたい。

とくに市政の運営上の問題について私の試みとしてモニター制度をとり、市民の本音の声を聞いて真に市民のための市政を行ない市政の合理化と相俟つて能率的効率的な市政を進めたいと存じます。

このようにして新しい市ではあります。が、内容の充実したレベルの高い市民生活を実現して行くことが私のねらいであります。

市議会役員の改選

三月三十日才一回臨時市議会

議長 則竹敏夫 副議長 山本重

常任委員会 (〇印委員長) 〇印副委員長 〇伊藤委員 〇山本委員

【総務委員会】 〇仙田次郎 〇三宅繁一 〇堀部忠雄 〇堀江正一 〇大野藤

市 〇渡辺茂三郎 〇日比野順一

【文教民生委員会】 〇川合雄一 〇片山録 〇渡辺安正 〇山田繁 〇山下穰

三浦利雄 〇庄加金次

【建設委員会】 〇長尾茂 〇山本薫 〇飯田重治 〇早川守 〇堀部栄一 〇渡辺郷一 〇春見森一 〇津田岩助

【産業経済委員会】 〇飯津謙次郎 〇村井武市 〇渡辺文雄 〇高橋行一 〇村井鈴雄 〇則竹敏夫 〇福地省三 〇坂本太郎

「美濃加茂市の歌」

歌詞募集

1 形式は自由ですが、全部で三節とします。

2 四角字詩原稿用紙を用いて、尾に住所、氏名、年齢、性別を書いて下さい。

3 応募締切期日は昭和三十七年六月三十日で当日の消印のあるものは有効とします。

4 宛先 美濃加茂市役所秘書課 入選及び賞金

5 一等 一万円

6 二等 五千円

7 三等 三千円

8 佳作 各千円

9 入選作品の発表

10 応募締切期日より二ヶ月以内に市広報に公表し入選者に賞金を送付し発表にかえます。

11 入選作品の著作権は当市に帰属します。なお応募作品はすべておかせしません。

12 市の業務

13 中部経済圏内陸部屈指の交通通信の要衝とし、且つ木曾川飛騨川の合流点にあつて急速なテンポで産業基盤の整備が進められ、商工業の伸張と東海地区屈指の果実、畜産等の豊稔とす。この高度の近代化が進められた国定公園に近く指定される飛騨木曾川自然公園の世界的溪谷日本ライオン発祥の地とし、且つ文豪坪内逍遙や初の名著市民津田左右吉博士の郷土にふさわしい観光文化都市となるよう新都市として躍進しています。

近く低開発地域の指定

工業開発による所得倍増

美濃加茂市を中心とした周辺が今度国の低開発地域の指定を受ける見通しが強くなった。これは国民所得倍増計画に基づき、後進性の強い地域の開発促進を目的として地域格差、所得格差を是正することが政策的な重要課題とされ、このために低開発地域工業開発促進法が施行され、工業立地条件の備わっている地区を対象としてここに立地する企業に税制上、金融上の優遇措置を与え工業開発を促進し雇用を創出する見込みです。

の増大を計り地域全体の生活水準を上げ且つ農業の近代化を誘発しようというもので経済企画庁では全国で四十地区を指定する方針であり、この指定により優利な開発をするよう各市町村が期待と注目を寄せている。三月十九日には経済企画庁総合開発局加藤専門調査官、古閑事務官が現地に調査に来た。本市を中心として、木曾川流域を最も指定の希望が強く、その指定の見通しも明るく、本地域の工業開発に多大の希望が寄せられ、先きに指定になった国の農業構造改善事業や近く指定される飛騨木曾川国定公園や木曾川右岸

用水事業の推進等により、文字通り本市を中心とした木曾川流域の画期的な体質改善をする極めて重要な段階を迎えたわけである。

(解説)

低開発地域に指定されると地域内に製造業の用に供する設備が新設、増設された場合に一定の要件を具備しているときは、その企業に設けられる法人税、又は所得税の算定の際、減価償却の特例を五年間適用し、また地方税においても、市町村が工場誘致条例で事業税、固定資産税等減免している場合、一定の要件に合致すれば減免額に相当する額を地方交付税により、補填する、また企業に對する資金の確保や工業開発の促進に必要な産業関連施設の整備促進等極めて有利な特例が規定されている。

国保だより

千円を千五百円に改める。
二、保険料について
今年四月から保険料は次によつて減額します。
左の三方式によつて算出した合

昨年四月から全国皆保険になつて皆保険の健康保険に對するご理解も深まり、三十六年度の受給件数は約四万件(前年度三万、五〇〇件)に達する見込みです。
昨年四月から入院の場合における給食も給付を認めることになり、十月からは世帯主の結婚と精神病は七割を市が負担しています。特に昭和三十七年度よりは給付の改善など次の点について改正されましたのでご注意下さい。
一、給付の改善について
今年四月から次のように給付改善をいたします。
助産費と療養費は、一件につき

算額が保険料の年額であります
1世帯制 二世帯につき、年額五〇〇円(月額四一四円)
2人頭制 一人につき年額二七〇円(月額二二四円)

三、被保険者の異動届出について
世帯主が世帯主の異動(転入、転出、出生、死亡、他の健康保険に加入、又は資格喪失等)の場合には必ずその都度十日以内に保険証と印鑑持参の上、市役所保険課又は連絡所へ届出下さい。

【稲垣簡易水道五月より給水】

1月より総工費350万余円にて工事を進めていた稲垣簡易水道は、配管の取り付けも終わり最終の鉄筋コンクリート建ポンプ場の整備が いそがれており、簡易水道としては最も近代的な施設と能力をそなえ水源も上質な水で、今後工場誘致でも 充分間にあうような豊富な水量をもっており、また 配水管のなかに7ヶ所の消火栓と10ヶ所の給水栓等防火の完備を期しており、今月末に試験給水をし 5月より、いよいよ待望の給水が始まることになりました。

【衛生センター竣工式】



本市と周辺4町の組合立で建設していた一し尿処理施設焼却場の衛生センター竣工式が4月11日牧野緑ヶ丘の現地に 小川県知事公室長、厚生部長を始め、工事関係者を招いて 竣工式が開催され、いよいよ近く操業を開始することになりました。なおし尿汲み取りは36日17円にあらためられ、ゴミ等は前以のとおりで石炭箱1箱10円です。

【交通事故犠牲者ついに11人】

加茂署管内の交通事故は3月に入ってから 痛ましい犠牲者11名のほり、昨年同様の2,5倍という眼下各署をはるかに上回る悲しむべき交通事故が発生しました。



皆さんのご意見質問や、各地の話題などの広場としてご利用下さい。

豊田玉子さん母子もその痛ましい犠牲者であり 3月19日自転車でも市役所前の国道を愛児1人を背負い1人を後に乗せて右側通行をしていてトラックのボデーに接触して転倒し、子供さんは死亡、玉子さんは重傷となったものであり、また小山朝香様の子供を前後にのせ車をさした親子の川辺町踏切の事故、三和町の自転車事故をならい始めて3日目の小学生など自転車関係の事故が続発しております。自動車等の安全運転はもとより歩行者は必ず右側のはしを、自転車のときは左側のはしを1列に通り2人乗りをしてはいけない、などという誰れでもわかつていることを本当によく守り悲惨な事故をおこさないようお互いに注意いたしましょう。

【36年度中学校卒業生の進学状況】

今年3月中学校卒業生の消息は次のようです。
学校 卒業 進学 就職
太田 171 109 62
東 325 207 118
蜂屋 81 99 42
加茂野 57 32 25
北 55 29 26
計 689 416 273
進学学校は加茂高143、全合格という結果になつた。加茂農林43、関商工18、関高15、関南工15、その他となつており、地元市内高校希望219人で合格186人、関市内高校38人で35人合格で、その他岐阜市高校希望59人並びに東濃、八百津高と多治見市内高校20人は進学学校は加茂高143、全合格という結果になつた。

【市内小中学校児童生徒数】

小学校	1年	4年	5年	6年	計
1年	549	587	577	645	3,694
2年	577	587	577	645	
3年	646	690	646	690	
計	3,694				

中学校	1年	2年	3年	計
1年	769	923	943	2,635
2年	923	943		
3年	943			
計	2,635			